

国語科学習指導案

令和元年12月6日(金)第5校時(13:40～14:30) 3年3組 指導者

I 単元名 「新聞の社説を比較して読もう」

II 学習指導要領上の位置付け

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。
【知識及び技能 (2) 情報の扱いに関する事項ア】
- (2) 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
【思考力、判断力、表現力等 C 読むことウ】
- (3) 書き手の意図にによって物事の論じ方に違いがあることに気付き、自分の考えを伝える場で生かそうとすること。
【学びに向かう力、人間性等】

III 目 標

- 新聞の社説を比較して読む活動を通して、次の指導事項が身に付けられるようにする。
- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。
【知識及び技能 (2) 情報の扱いに関する事項ア】
- (2) 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。
【思考力、判断力、表現力等 C 読むことウ】
- (3) 書き手の意図にによって物事の論じ方に違いがあることに気付き、自分の考えを伝える場で生かそうとしている。
【学びに向かう力、人間性等】

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／4）

- ねらい 学習の見通しをもたせることで、社説を比較することへの関心を高め、学習課題解決への意欲をもたせる。
- 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

1 学習課題を設定する。（10分）

- 生徒の列ごとに異なる記事を読ませる。
- タブレットのアンケート機能を用いて読み取った内容を集計した際に、列ごとの意見に差を出させることで、1つの記事だけを読んでいると、読み取った内容に偏りが出てしまうことに気づかせる。
- 複数の社説（論説文）を読む必要性を実感させることで、単元への意欲をもたせる。

学習課題 複数の論説文を比較して評価し、筆者の主張に対する自分なりの判断をしよう。

- 文章を比較をする際には観点が必要なことを、既習事項から想起させる。

2 めあてをつかむ。（20分）

めあて 複数の論説文を比較して読むために必要なことを話し合い、学習の見通しをもとう。

- めあてを設定した際に、各自で複数の社説を読み比べる際の観点について考えさせることで、比較するための視点をイメージできるようにする。
- 二つのモデル文を見比べ、どのような観点を比較して評価していけば良いかをペアで考えさせる。

3 単元全体の学習の見通しをもつ。（10分）

- ペアで考えた観点を全体で確認しながら整理し、これからどのような流れで学習を進めていくのかを捉えさせる。
- 学習課題の解決に向けて、並べて読むだけでは不十分であることに気づかせ、どうすれば良いかを問いかけることで、次時への課題意識をもたせる。

学習課題を把握し、学習への意欲をもっている。＜振り返りシート・発言（3）＞

4 本時のまとめ・振り返りをする。（10分）

- 学習課題を確認することを通して、課題解決に対する見通しを自分の言葉で表現させる。
- ☆どのようなことが書かれているかきちんと整理して読んでいかないと、内容を捉えにくいな。
- ☆一つだけの論説では、考えが偏ってしまう。いくつかの論説を比べて、様々な考えに触れて自己判断していかないといけないな。

